

11月5日～6日の週末には全国各地でフェス・つどいが開催されましたが、岩手では5日に一関市で2校合同の街頭署名行動がおこなわれました。初参加の生徒が先輩のふるまいを見て学んでいく様子は、まさに街頭署名をとおして署名運動や学費問題を「ジブンゴト」にしていく過程であり、それは大人でも同じでしょう。小さな一歩を大きな力にしていきたいと思います。

岩手・一関市2校で合同街頭署名



2022年11月5日(土)、一関生協(コープコルザ)前にて一関修紅・一関学院両校の生徒達による街頭署名が行われました。岩手県内では唯一、毎年街頭署名を行っている地区であり、今年で32回目。10月10日(月・スポーツの日)に3年ぶりに行われた「岩手県私学フェスティバル in 盛岡」では、あいにくの悪天候(大雨)により街頭署名を断念せざるを得なかったため、岩手では今年初めての街頭署名。

当日は両校から**20名**(一関修紅生徒3・教員3、一関学院生徒10・教員4)が参加。一関学院では10月に生徒会役員改選したばかりで、新生徒会長と9名の1年生新役員というフレッシュな顔ぶれでの署名活動。

生徒達の「私学助成の署名にご協力ください。」と秋晴れの空に響く元気な声に、多くの買い物客が足を止め署名に協力してくれ、11時から1時間半の活動でしたが**192筆**(募金100円)の署名を集めることができました。初めて参加する生徒も多かったため最初は説明もぎごちない様子でしたが、お互いに寄り添いフォローし合ったり、アドバイスし合ったり、呼び掛ける言葉の一つ一つを考え工夫しながら取り組んでくれました。

この街頭署名をはじめ県内で集められた署名は、12月1日(木)に岩手県議会議長へ提出する予定です。



一関市内にある二つの私立高校の生徒らによる私学助成の街頭署名活動は5日、同市石畑のコープ一関コルザで行われ、公立高との教育負担の格差をなくすための助成金拡充に向けて署名を呼び掛けた。

**私学助成
拡充訴え**
修紅、学院高
生徒ら署名活動

コープ一関コルザ前で私学助成に向けた署名を募る生徒
……
年で13回目となる活動。一関修紅(同市宇東花王町)と一関学院(同市八幡町)の生徒と教職員計20人が同店の出入り口周辺で約2時間、活動した。

参加者によると、私学助成の課題について知らない人も少なくなかったといい、一関修紅高の千葉萌鈴生徒会長(2年)は「署名活動を通じて、多くの人に助成金の拡充の意味を伝えたい」、一関学院の大脇ひな生徒会長(2年)は「金銭面の課題で希望の学校に進学できないということがなくなっ
てほしい」と話していた。集められた署名は他地域の分とまとめて後日、県議会と国会に送られる予定。

(2022年11月10日付「岩手日日」)

私学助成署名中間集約は明日11月15日までに必ず報告をお願いします。